

## 平成22年6月期 第2四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 大  
 コード番号 6662 URL <http://www.ubiteq.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荻野 司  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)明石 直人 TEL 03-5487-5560  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年6月期第2四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第2四半期	1,815	△31.9	43	△78.7	46	△77.7	6	△93.9
21年6月期第2四半期	2,665	14.5	204	113.9	206	89.3	106	130.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年6月期第2四半期	46	69	46	05
21年6月期第2四半期	3,045	60	3,030	60

(注) 平成21年4月1日付で普通株式1株を4株に分割しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年6月期第2四半期	3,725		2,985		79.6		21,134 59	
21年6月期	3,796		3,011		78.9		21,374 25	

(参考) 自己資本 22年6月期第2四半期 2,964百万円 21年6月期 2,994百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	— —	0 00	— —	250 00	250 00
22年6月期	— —	0 00	— —	— —	— —
22年6月期(予想)	— —	— —	— —	250 00	250 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

## 3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,000	2.4	260	0.7	260	△1.7	130	11.3	927	91

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 [ 除外 1社 (社名 Ubiteq HK Ltd.) ]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 [(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- |             |          |        |          |
|-------------|----------|--------|----------|
| 22年6月期第2四半期 | 141,668株 | 21年6月期 | 141,500株 |
|-------------|----------|--------|----------|
- ② 期末自己株式数
- |             |        |        |        |
|-------------|--------|--------|--------|
| 22年6月期第2四半期 | 1,400株 | 21年6月期 | 1,400株 |
|-------------|--------|--------|--------|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- |             |          |             |         |
|-------------|----------|-------------|---------|
| 22年6月期第2四半期 | 140,197株 | 21年6月期第2四半期 | 35,011株 |
|-------------|----------|-------------|---------|

(注)平成21年4月1日付で普通株式1株を4株に分割しております。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績等の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部では景気持ち直しの兆しも見られましたが、総じて景気の停滞感は強く回復感に乏しい状況が続いております。当社グループの関連市場においても企業収益の完全な回復には至らず、設備投資抑制は続き、需要回復の遅れや価格低下圧力が強まる等、引き続き厳しい事業環境となりました。このような状況の中で、既存事業の落ち込みをカバーすべく、前連結会計年度に引き続きグループ全体によるローコストオペレーション体制を維持すると共に、事業効率化とコスト削減などの諸施策に取り組んでまいりました。また、事業構造の変革として、受託開発事業中心の構造から顧客先企業の状況に影響を受けにくい自社製品と自社サービス提供型事業へと移行すべく、BX-Officeをはじめとした「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」を実現するBE GREENソリューションを中心に自社製品・サービス開発及び販売を進めています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,815百万円（前年同四半期比31.9%減少）、営業利益は43百万円（前年同四半期比78.7%減少）、経常利益は46百万円（前年同四半期比77.7%減少）、第2四半期純利益は6百万円（前年同四半期比93.9%減少）となりました。

（連結各セグメントの概況について）

電子機器事業は、既存顧客向けの量産案件がエレクトロニクス業界不振による影響を受け、主力製品の販売が減少したため、前連結会計年度に引き続き厳しい事業環境となりました。このような事業環境の下、オリックス自動車(株)向けの車載機事業については着実に売上を獲得し、今後も売上拡大を進めていきます。また、業務全体を見直しながら関係協力会社にもご協力頂き、仕入れコストや外部委託費用について削減を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は948百万円（前年同四半期比32.1%減少）、営業利益は152百万円（前年同四半期比26.4%増加）となりました。

なお、Ubiteq HK Ltd.は業務効率化及びコスト削減のために業務を本社に移管しました。現在Ubiteq HK Ltd.は営業活動を停止しており重要性が乏しいと判断されるため、第1四半期連結会計期間末より連結除外しております。

モバイル・ユビキタス事業は、資本提携先であるパナソニック電工(株)からの受注は順調に推移したものの、主力事業であった携帯電話評価業務の受注が減少し、子会社での組み込み型ソフトウェアの受託開発等の受注減からくる赤字の影響があり、当第2四半期連結累計期間の売上高は866百万円（前年同四半期比31.6%減少）、営業利益は65百万円（前年同四半期比75.8%減少）となりました。

省エネソリューションとして本年度より販売を開始したBX-Officeを始めとするBXシリーズについてはネットワートナーズ(株)と販売代理店契約を締結し、シスコシステムズ(合)のルータCisco ISRシリーズにBX-Officeを搭載した「CFMS by BX-Office」の販売を開始し、売上獲得に向けて拡販を進めております。また、宙博2009への出展も行い、引き続き追加機能開発やマーケティングに注力し積極投資をしていきます。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,725百万円となり、前連結会計年度末から71百万円減少しております。主な内容としましては、流動資産においては現金及び預金が104百万円減少、製品が17百万円減少、受取手形及び売掛金が8百万円増加、仕掛品が41百万円増加、原材料及び貯蔵品が21百万円増加しております。

（負債の状況）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は739百万円となり、前連結会計年度末から45百万円減少しております。主な内容としましては、未払金が29百万円の減少、未払法人税等が53百万円の減少、役員賞与引当金が6百万円減少、支払手形及び買掛金が68百万円増加しております。

（純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は2,985百万円となり、前連結会計年度末から26百万円減少しております。主な内容としましては、四半期純利益6百万円の計上と剰余金の配当35百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、以下の各キャッシュ・フロー状況とそれらの増減要因により、前連結会計年度末に比べて104百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は、1,771百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は7百万円となりました。（前年同四半期は235百万円の収入）これは主に税金等調整前四半期純利益の計上44百万円、仕入債務の増加68百万円があったものの、法人税等の支払80百万円、たな卸資産の増加46百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は26百万円となりました。（前年同四半期は7百万円の収入）これは主に有形固定資産の取得9百万円、敷金及び保証金の差入れ15百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は32百万円となりました。（前年同四半期は34百万円の支出）これは主に配当金の支払34百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月11日に発表しました、平成21年6月期決算短信に記載の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

①連結の範囲の変更

Ubiteq HK Ltd.は営業活動を休止し実質的に休眠中であり、重要性が乏しいと判断されるため第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。ただし、平成21年7月1日から平成21年9月30日までの四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書については連結しております。

②変更後の連結子会社の数

2社

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便的な会計処理

①棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期特有の会計処理

①税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第2四半期累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,771,610	1,876,107
受取手形及び売掛金	1,129,736	1,121,483
製品	35,882	53,270
仕掛品	68,889	27,072
原材料及び貯蔵品	99,045	77,259
繰延税金資産	65,789	77,215
その他	139,032	179,363
貸倒引当金	△556	△667
流動資産合計	3,309,428	3,411,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,107	51,107
減価償却累計額	△17,584	△14,368
建物及び構築物(純額)	33,523	36,739
工具、器具及び備品	355,254	353,235
減価償却累計額	△313,598	△309,921
工具、器具及び備品(純額)	41,656	43,313
有形固定資産合計	75,179	80,053
無形固定資産		
のれん	22,810	30,413
その他	21,160	19,833
無形固定資産合計	43,970	50,247
投資その他の資産		
投資有価証券	94,453	64,243
繰延税金資産	30,623	32,534
その他	171,416	158,749
投資その他の資産合計	296,492	255,527
固定資産合計	415,642	385,827
資産合計	3,725,070	3,796,930

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	497,276	429,086
未払金	50,058	79,897
未払法人税等	30,200	83,848
賞与引当金	4,525	4,385
役員賞与引当金	6,562	13,125
その他	81,159	95,895
流動負債合計	669,782	706,238
固定負債		
退職給付引当金	69,894	79,247
固定負債合計	69,894	79,247
負債合計	739,677	785,485
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	854,798	853,612
資本剰余金	568,700	567,514
利益剰余金	1,628,136	1,658,418
自己株式	△75,474	△75,474
株主資本合計	2,976,161	3,004,071
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,789	△6,363
為替換算調整勘定	△2,865	△3,175
評価・換算差額等合計	△11,654	△9,539
新株予約権	4,801	—
少数株主持分	16,085	16,912
純資産合計	2,985,392	3,011,445
負債純資産合計	3,725,070	3,796,930

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,665,708	1,815,406
売上原価	2,095,852	1,412,390
売上総利益	569,856	403,015
販売費及び一般管理費	364,906	359,448
営業利益	204,949	43,567
営業外収益		
受取利息	2,646	2,131
受取配当金	97	65
助成金収入	—	2,267
投資事業組合運用益	2,080	—
その他	1,485	937
営業外収益合計	6,309	5,401
営業外費用		
為替差損	4,462	2,028
投資事業組合運用損	—	898
その他	2	8
営業外費用合計	4,464	2,935
経常利益	206,794	46,033
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	53	1,332
投資有価証券評価損	3,447	—
特別損失合計	3,500	1,332
税金等調整前四半期純利益	203,293	44,700
法人税、住民税及び事業税	73,811	26,892
法人税等調整額	22,638	12,013
法人税等合計	96,450	38,906
少数株主利益又は少数株主損失(△)	213	△751
四半期純利益	106,629	6,545

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	203,293	44,700
減価償却費	19,083	16,460
株式報酬費用	—	4,801
株式交付費	2	8
投資有価証券評価損益(△は益)	3,447	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	35	△110
賞与引当金の増減額(△は減少)	188	146
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,500	△6,562
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,470	△9,349
受取利息及び受取配当金	△2,646	△2,197
為替差損益(△は益)	4,335	911
投資事業組合運用損益(△は益)	△2,080	898
固定資産除却損	53	1,332
のれん償却額	7,603	7,603
売上債権の増減額(△は増加)	29,611	△8,252
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,843	△46,216
仕入債務の増減額(△は減少)	115,517	68,190
その他	△65,764	△21,226
小計	321,494	51,139
利息及び配当金の受取額	2,646	246
法人税等の支払額	△88,169	△80,820
法人税等の還付額	—	21,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,971	△7,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,649	△9,742
無形固定資産の取得による支出	△5,910	△5,382
敷金及び保証金の回収による収入	16,757	1,100
敷金及び保証金の差入による支出	△1,000	△15,473
出資金の分配による収入	8,090	3,371
投資有価証券の取得による支出	△5,283	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,005	△26,187
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	675	2,362
自己株式の取得による支出	△41	—
配当金の支払額	△35,118	△34,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,484	△32,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,308	△1,037
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	204,183	△67,716
現金及び現金同等物の期首残高	1,507,187	1,876,107
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△36,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,711,370	1,771,610

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)

	電子機器事業 (千円)	モバイル・ユビキ タス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,397,583	1,268,124	2,665,708	—	2,665,708
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,397,583	1,268,124	2,665,708	—	2,665,708
営業利益	120,897	271,156	392,054	(187,104)	204,949

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品サービス

## (1) 電子機器事業

- ・デジタル情報家電向け映像エンジンシステムの開発・生産業務
- ・ATM（オートテラーマシーン）や複写機に内蔵されている主要モジュールシステムの開発・生産業務
- ・上記テクノロジーを融合させた新技術の開発業務

## (2) モバイル・ユビキタス事業

- ・携帯電話端末評価業務
- ・次世代無線ブロードバンド「WiMAX」のネットワーク支援業務
- ・次世代ネットワークングテクノロジー「IPv6」に関する技術開発業務
- ・Web2.0テクノロジーを活用したWeb2.0ソリューション事業
- ・組込み型ソフトウェアの受託開発およびシステム開発等の人材派遣

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)

	電子機器事業 (千円)	モバイル・ユビキ タス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	948,560	866,845	1,815,406	—	1,815,406
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	948,560	866,845	1,815,406	—	1,815,406
営業利益	152,854	65,670	218,525	(174,958)	43,567

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品サービス

## (1) 電子機器事業

- ・デジタル情報家電向け映像エンジンシステムの開発・生産業務
- ・ATM（オートテラーマシーン）や複写機に内蔵されている主要モジュールシステムの開発・生産業務
- ・カーシェアリング車載システム等のサーバと端末のセットソリューションサービスの開発業務
- ・上記テクノロジーを融合させた新技術の開発業務

## (2) モバイル・ユビキタス事業

- ・携帯電話端末評価業務
- ・IPネットワーク（有線・無線）設計・構築・運用支援業務
- ・次世代ネットワークングテクノロジー「IPv6」に関する技術開発業務
- ・Web2.0テクノロジーを活用したWeb2.0ソリューション事業
- ・組込み型ソフトウェアの受託開発およびシステム開発等の人材派遣
- ・省エネ対応ソリューション開発

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,665,695	12	2,665,708	—	2,665,708
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	522,459	522,459	(522,459)	—
計	2,665,695	522,471	3,188,167	(522,459)	2,665,708
営業利益(又は営業損失)	354,828	42,514	397,343	(192,393)	204,949

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。  
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。  
アジア…中国、ベトナム

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	計
I 海外売上高(千円)	347,508	347,508
II 連結売上高(千円)	—	2,665,708
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	13.0

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
アジア…中国、ベトナム  
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。